

**製品名: DOC2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81784**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	82.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DOC2
別名	DAB2; DOC-2
遺伝子 ID	1601.0
SwissProt ID	P98082
免疫原	大腸菌で発現したヒト DOC2 (AA: 652-749) の精製された組み換え断片。

**背景**

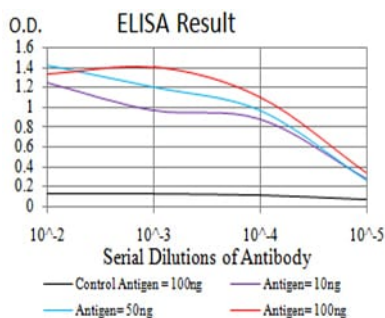
この遺伝子は、マイトジェン応答性リン酸化タンパク質をコードしています。正常な卵巣上皮細胞では発現が亢進していますが、卵巣癌細胞株では発現が低下しているか欠如していることから、腫瘍抑制因子としての役割が示唆されています。このタンパク質は、

チロシンキナーゼ受容体と SOS (Ras のグアニンヌクレオチド交換因子) を結合させるアダプタータンパク質である GRB2 の SH3 ドメインに、C 末端のプロリンリッチ配列を介して結合します。そのため、GRB2 への結合をめぐって SOS と競合することで、増殖因子/Ras 経路を調節すると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

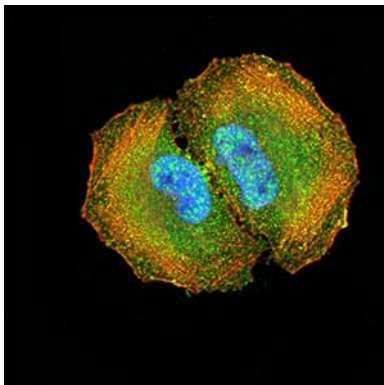
## 研究分野

アポトーシス、Wnt シグナル伝達経路

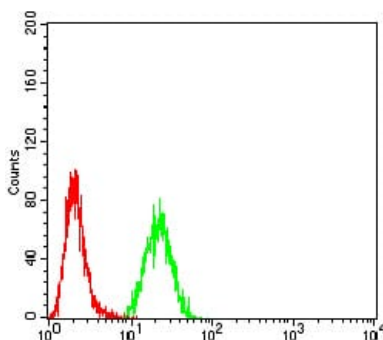
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



DOC2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DOC2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。